

令和4年度第2回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和4・5年度実施状況	担当課
1	LINE（ひがしなり防災）の登録者数を増やす方策について、ホームページでの呼びかけや「二十歳の集い」で参加された方に直接呼びかけるなどを行っていただければいいのではないかと。	にぎわい・ きずな部会	「二十歳の集い」をはじめ、いろいろな現場で「LINE登録できます」というような情報発信をさせていただきたい。早速1月9日の「二十歳の集い」で二十歳の参加者に対してLINEの周知を行った。また、今後、新規登録者に対しては、何らかの特典を用意するなどのことも検討して、さらなる友達登録者数の増加を図っていききたい。	LINE（ひがしなり防災）の登録者数を増やす方策については、2月22日から大阪市広報板へ掲出している。 また、新規登録者に対する特典については、3月に試行実施する。 今後あらゆる手段を使って新規登録者数増加を図っていく。	●令和5年1月9日の「二十歳の集い」で二十歳の参加者に対してLINEの周知を行った。令和6年1月8日開催予定の「二十歳の集い」においても周知を行う。 ●令和5年2月22日から実施している大阪市広報板への掲出は令和5年度も引き続き実施する。 ●令和5年3月に新規登録者への特典を試行実施したところ、29名が新たに登録した。 ●令和5年度についても区民まつりや震災訓練をはじめあらゆる地域行事においてチラシを配布する等、新規登録者数増加を図っていく。	市民協働課
2	防災の備蓄物資（飲料水や食糧等）について、 ・備蓄物資にどれぐらいの費用をかけているのか。 ・備蓄倉庫に何日分備蓄されているか。 ・区役所から各連合に物資を配付する場合に、各連合に事前に相談をしていただけたら有効的に予算を活用することができると思う。 ・100年に1度の洪水でも備蓄物資が水に濡れないようにしていくなどを考えられ	にぎわい・ きずな部会	—	・備蓄物資に要している費用について、令和4年度予算では大阪市全体で2億1848万円（1区あたり910万円）となる。 ・大阪市では、「大阪市避難所運営にかかる備蓄計画」に基づき、南海トラフ巨大地震の想定避難所避難者数である、約53万人に対する3日分の物資を、拠点倉庫（市内6箇所）、区役所、避難所に分散して備蓄している。 そのうち、各避難所には最低1日分の物資を備蓄できるよう順次進めている。	●備蓄物資に要している費用の令和5年度予算は、大阪市全体で2億215万円（1区あたり842万円）となる。 ●令和5年度に東成区役所にて購入予定の備蓄物資について、令和5年5月以降に地域自主防災組織等と協議する。 ●備蓄倉庫の移設については、令和5年度も引き続き地域と協同で働きかけていく。 なお、令和5年3月に小中学校の各校長へ依頼を行ったところ、前向きに検討していただける校長もいた。	市民協働課

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和4・5年度実施状況	担当課
	てもらいたい。			・東成区役所にて備蓄物資を購入する際には事前に地域自主防災組織等と協議する。 ・備蓄倉庫が1階になっている避難所については、所在する連合町会長と協同で、施設管理者へ働きかけていく。		
3	東成区SDGs宣言制度について、 ・東成区の企業がいかに活性化していき、いろんな情報を発信していくことを目指している。 ・団体内でSDGs宣言制度の広報に協力していきたい」	にぎわい・きずな部会	—	東成区内で、より多くの企業・団体等にSDGs宣言をしていただき、宣言を通じて、さまざまな連携が促進されるような機会づくりに努めていきたい。	●東成区SDGs宣言制度の広報、宣言のPRに引き続き務めていく（令和5年4月末時点で81件の宣言を受付）。 ●令和5年3月に東成区SDGs宣言をした事業者・団体等を対象にした研修会等を実施した。今後も宣言を通じて、さまざまな連携が促進されるような機会づくりに努めていきたい。	総務課
4	親子で読書を楽しむイベントを開催するなど、子どもの読書活動をより推進してほしい。	子ども・教育部会	学校や学校図書館司書・地域図書館等と連携しながら、引き続き、子どもたちの読書習慣定着に向けた取組を行っていきたい。	会議での回答のとおり	●地域図書館におけるイベント等読書活動の取組にかかる積極的な広報や地域図書館等との情報共有等、引き続きさまざまな連携を図りながら読書習慣定着に向けた取組を行っていきたい。	市民協働課
5	平和という基盤があって、ふだんの生活や様々な活動が保証されている。平和の大切さを知ってもらうためにも、引き続き平和学習へ取り組んでほしい。	子ども・教育部会	子どもたちが戦争の悲惨さを学び、平和の大切さについて主体的に考えるきっかけとなるよう、学校と連携しながら、効果的な平和学習の取組を継続していきたい。	会議での回答のとおり	●令和4年度については区内全小学校の6年生を対象とした平和学習の実施や、新たな取組として区内3中学校においてウクライナで活動している国連職員によるオンラインでの平和学習会の実施を行った。今後も学校と連携しながら、効果的な平和学習の取組を	市民協働課

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和4・5年度実施状況	担当課
					継続していきたい。 令和5年度予算：631千円（平和学習以外の取組も含む） （学校における地域と連携したSDGs推進事業）	
6	新型コロナウイルスの影響で、モノづくり教育の取組の一部が中断している。モノづくり教育は、継続的に取り組んでいくことが必要であることから、取組みが継続できるように工夫していく必要がある。	子ども・教育部会	継続した取組みが可能となるよう、開催時期や規模の検討など、取組みの内容や手法等を工夫していきたい。	会議での回答のとおり	モノづくり体験を通して、子どもたちの興味関心を喚起し、将来を考えるキャリア教育の一環として、下記イベントを開催し、多数の参加者にご参加いただいているところである。 ●ひがしなり環境・SDGs体験フェスタ 開催日：令和4年12月24・25日 来場者数：約1,200名 ・令和4年度予算：7,280千円 （子どもたちと体験するSDGs） ●モノづくり体験フェスタ 開催日：令和5年2月18日 来場者数：約1,000名 ・令和4年度予算：2,340千円 ・令和5年度予算：2,314千円 令和5年度は 工場見学会（ファクトリーツアー） モノづくり体験フェスタ を実施予定。 （「東成区の地域資源」魅力発信事業）	市民協働課

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和 4・5 年度実施状況	担当課
7	ひがしなり子育て安心ブックの配布について ・子育て家庭だけではなく、子育て家庭以外の人々にも「子育て安心ブック」のことを知ってもらえれば、地域の活動の中で子育て中の親御さんに「子育て安心ブック」のことを教えてあげることができ、地域で子育て家庭を見守ることににつながるの、いろいろな年代の方にも知ってもらう必要があるのではない。 ・区役所ホームページに電子版が掲載されているとのことであるが、認知度が低いので積極的に広報する必要がある」	子ども・教育部会	—	東成だよりにて、Web 版を含む「ひがしなり安心ブック」の周知を行っていく。	●子育て世帯以外の方にも知っていただくために「ひがしなり安心ブック」「Web 版ひがしなり安心ブック」について「ひがしなりだより」やSNS等（Twitter, facebook, メールマガジン）にて広報しており、今後も継続予定。 ●区内の保育園、幼稚園、認定こども園など、子育て支援機関へ冊子やWeb版の2次元バーコードを情報提供しており、今後も関係機関を通じ広く周知を図る。 令和4年度予算 490 千円 令和5年度予算 1,223 千円 （子育てネットワーク構築支援事業）	保健福祉課 （児童保健）
8	子育てしやすいまちづくりについて ・小さなイベントでいいので、親子と地域がつながる機会を増やし、地域で子どもたちを見守る、子育てしやすいまちをつくることが望まれる。	子ども・教育部会	—	引き続き、創意工夫をこらし、イベント実施について取り組んでいく。 親子で読書に親しむイベントについても、地域の関係機関・支援者と連携し取り組んでいく。	●子育て支援機関や地域の支援者と連携し「ひがしなりっ子 すくすく・つながるフェア」「ひがしなりっ子 すくすくつながるスタンプラリー」「すくすくつながるミニ運動会」「絵本展」「プラザフェスタ」など親子で楽しめ、地域の支援者や支援機関ともつながることができるイベントを実施しており、今後も継続予定	保健福祉課 （児童保健）

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和4・5年度実施状況	担当課
	・親子で読書に親しむイベントの実施も希望する。				令和4年度予算 490 千円 令和5年度予算 1,223 千円 (子育てネットワーク構築支援事業)	
9	地域において人と人が交流することは、とても大切なことだが、最近は、新型コロナウイルス感染拡大や、高齢で一人暮らしの人の増加などにより、直接、コミュニケーションを取る機会が減ってしまい、近所の人でさえ、その方々にどんな困りごとがあるのか、何を必要とされているのかが分からなくなっている。 地域の身近な相談窓口である地域福祉活動サポーターによる支援を、こうした見守り活動などに広げていく取組みが重要になってくると思う。 地域福祉活動の一つである、食事サービス事業では、やり方を工夫することによって実質的に見守りの機能を果たしている。	保健福祉部会	—	高齢で一人暮らしの方や障がいのある方の見守りを着実に進めていくために、どのようにすれば、地域の方の見守り活動等と連携しながら、見守り相談室や地域福祉活動サポーターによる支援を広げていくことができるのかについて検討していく。	●地域活動サポーターの顔や活動について知ってもらい、高齢者や障害のある方々と地域との連携を深めるために令和4年10月、5年2月の「ひがしなりだより」に広報記事を掲載 (老人福祉センターだより「すこやか」4年9月号でも掲載) ●6年2月の「ひがしなりだより」で広報予定	保健福祉課 (福祉)
10	障がいへの理解を深める取組みを継続していくことが大事である。 地域では、障がいのある人に対しても分け隔てなく接してくれていて感謝している。	保健福祉部会	—	障がいへの理解を深める取組を今後も継続していく。	●これまでに開催してきた障がい理解講座(区民公開講座)に替えて、4年度は「障がい理解のためのスポーツパネル展」を行った。 今後も障がいへの理解を深める取組について、内容等検討し実施予定。	保健福祉課 (福祉)

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和4・5年度実施状況	担当課
	障がいへの理解を深める取組みの一つとして実施している「みんなちがって みんないい」という障がい理解講座がY o u T u b eでアップされている。					
11	百歳体操など、地域で行う活動への参加者が広がる工夫が必要。百歳体操や地域で行われている活動に参加し、人と話をすることは認知症予防にも効果があるとされているが、参加者は女性が多く男性の参加は少ない現状がある。	保健福祉部 会	—	百歳体操などの普及啓発を行いつつ、より魅力的な地域活動の実施に向けて引き続き関係機関と連携を進めていく。	●百歳体操の実施日や実施場所を地域の方に把握してもらいやすいよう「ちよつとのぞいて♡いきいき百歳体操 開催中」ののぼりを新規作成し、各会場に配付するなど、参加者の増加につながるよう引き続き工夫を重ねる。 令和4年度予算 319千円 令和5年度予算 295千円 (ライフステージに応じた健康づくり事業)	保健福祉課 (児童保健)
12	メンタルヘルスに関する啓発の取組みについて。健康づくりには、体の健康だけでなく、心の健康も大切である。抱える悩みは、例えば、差別やハラスメント、L G B TやD Vなど、人により異なるが、「悩みを抱える方」が相談窓口につながりやすい環境をつくるのが大切。区の広報紙や掲示板、パンフレットなど様々な方法を活用し、メンタルヘルスに関する周知啓発を積極的に取り組む必要がある。	保健福祉部 会	—	区の広報紙や掲示板はもとより、SNSやパンフレットなど様々な方法を活用し、メンタルヘルスに関する周知啓発を積極的に取り組んでいく。	●「ひがしなり知って得する福祉情報」LINEへの配信や、食育&健康セミナーなどの健康づくりイベントで「こころの健康」に関する情報提供や相談窓口の周知啓発を行っており、今後も継続予定。 令和4年度予算 319千円 令和5年度予算 295千円 (ライフステージに応じた健康づくり事業)	保健福祉課 (児童保健)

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和 4 ・ 5 年度実施状況	担当課
13	昨年 12 月の連長会議で配布した、区内の排水ポンプについての資料を区政会議でも配布してほしい。	清水委員	排水ポンプは誰もが知ることになると、それを壊されるというようなおそれがあるので、あまり公表していただきたくないと建設局より連絡があった。	令和 5 年 3 月中に、区政会議委員へ情報提供させていただく。	●令和 4 年 12 月 15 日に各地域の連合町会長へ情報提供した内容を、令和 5 年 5 月に区政会議委員へも情報提供させていただいた。	市民協働課
14	いろんな部会から出た意見は、令和 5 年度の区政の施策に反映されるのか。反映されるということになると、予算の一覧のどういう事業に、これが該当するのか説明をお願いしたい。せっかく我々がいい意見を言っても、「予算あらへんから、そんなもんできませんよ」と言われたら、それで終わりなので。	志知委員	区政会議で部会も通じて、色々なご意見をいただいており、来年度の区の運営方針に関して、今回頂戴した色々なご意見について、こういうこう立てで、こういうところに力を入れたいと思う、とお話させていただいている。それ以外の部分については、内容によって、区の予算で対応するものと、全市的に対応するものと色々あるので、一個一個紐づけることはできないが、例えば「二十歳の集い」での防災 LINE のことなど、予算には出てこないが、考え方、取組の方針で、市政の部分でしっかり反映させている。防災、すすく・つながるクラブ、平和学習など区政運営の方針になっている部分については、それぞれのところで、しっかりと計画も入れ対応している。	いただいたご意見については、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」にのっとり、区政の施策検討の参考とさせていただく。	●区政会議でいただいた意見については、対応方針のみならず実施状況を報告させていただく。	総務課

	意見内容	委員名 または 部会名	会議での回答	対応方針	令和 4 ・ 5 年度実施状況	担当課
15	前年に提案した区政委員の意見が、令和4年度でどれだけの反映をしたのかどうか、3月末の時点で1年間振り返って、これだけの意見をこういうふうに反映した、あるいは、こういうことは反映できなかったと、いったような報告をぜひお願いしたい。	志知委員	どのような形になるか分からないが、検討させていただく。いただいたご意見というのは、一覧にさせていただくので、それについての対応と、今、ご意見いただいたように実質にできることについては、「できる」とか、できないことについては、「このような理由でできない」という形でお返すことは可能だと考える。来年度どこかのタイミングで、全部振り返った上で御提案いただいた内容が全てできるかどうかはあるが、整理した上で、報告させていただきたいと思う。	会議での回答のとおり	●区政会議でいただいた意見については、対応方針のみならず実施状況を報告させていただく。	総務課